

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。
取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- ヒトTARC（Th2ケモカイン） 項目コード：4943

受託開始日

平成23年7月1日（金）受付分より新規受託開始

※ 裏面の受託要項をご確認の上、ご依頼ください。

保健科学グループ



株式会社 保健科学研究所

本社／ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社／ 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345
中部支社／ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社／ 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社／ 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

いがく小田原衛検
新潟臨床検査センター カスタムメディカル研究所
保健科学東日本 ケーアイエー細胞病理研究所
日本ノーバメディカル研究所 日本厚生団衛生科学研究所
組織科学研究所 相模医研
遠州予防医学研究所 湘南医化学検査センター
東部メディカルセンター

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値・単位	所要日数	実施料判断料
4943	ヒトTARC (Th2ケモカイン)	血清 0.4mL	A-1 冷蔵	ELISA 法	小児(6~12ヶ月) : 1367未満 小児(1~2才) : 998未満 小児(2歳以上) : 743未満 成人 : 450未満 (pg/mL)	2 5 7	200 免疫 ※1

※1 TARCは、血清中のヒトTARC量を測定する場合に月1回に限り算定できる。

▼ 臨床的意義

アトピー性皮膚炎は、患者の多くがアトピー素因をもっており、慢性的に増悪と寛解を繰り返しますが、症状の程度に応じた適切な治療を行うことにより、症状がコントロールされた状態に維持されると自然寛解も期待できる疾患です。

しかし、近年、特に成人30歳以上有病率が増加している上に、重症化・難治化傾向が問題となっており、重症度に応じた適切な治療の重要性が改めて指摘されています。

TARC (thymus and activation-regulated chemokine)とは、白血球走化作用を持つケモカインの一種で、過剰産生されるとTh2細胞を病変局所に引き寄せ、IgE抗体の産生や好酸球の活性化が起こり、アレルギー炎症反応を惹起すると考えられています。

とりわけ、アトピー性皮膚炎において特異性がみられ、重症になるほど著明に上昇し、軽快に伴い減少します。

これらのことから、ヒトTARCは、アトピー性皮膚炎の病勢を客観的に数値化することが出来ることができ、重症度評価の一助として有用と考えられております。

▼ 参考資料「アトピー性皮膚炎の重症度判定の目安」

	ヒトTARC 測定値	アトピー性皮膚炎の重症度の目安
成人	700 pg/mL 未満	軽症
	700 pg/mL 以上	中等度以上
小児 (2歳以上)	760 pg/mL 未満	軽症
	760 pg/mL 以上	中等度以上

▼ 参考文献

1. 石田 俊雄, 他 : 医学と薬学 58 (6) : 901~907, 2007. (検査方法参考文献)
2. 藤澤 隆夫, 他 : 日本小児アレルギー学会誌 19 (5) : 744~757, 2005.
3. 玉置 邦彦, 他 : 日本皮膚科学会雑誌 116 (1) : 27~39, 2006.